

平成 21 年度 福岡女子大学 春季公開講座

# 文学と女性



日 程：平成 21 年 **5月27日(水)、28日(木)、29日(金)**

時 間：13:10~15:40 (受付は12:30~)

1 講座目 13:10~14:20 2 講座目 14:30~15:40

会 場：福岡女子大学附属図書館 1 階視聴覚室

受講料：2,000円 (全6回分) ※高校生・本学学生は無料

対 象：高校生以上の男女

※5/28 向井剛教授のタイトルを「アーサー王物語の女性と19世紀ヴィクトリア時代—ニミュエ、グィネヴィア、エレインと女性の役割—」に変更させて頂きました。何卒ご了承のほどお願いいたします。



## 5月27日(水)

詩歌の恋情表現と「女性像」  
『源氏物語』に見る女性と家

本学文学部教授 月野 文子  
本学文学部教授 田坂 憲二

## 5月28日(木)

今日のジェイン・オースティン  
アーサー王物語の女性と19世紀ヴィクトリア時代

本学文学部准教授 宮川 美佐子

—代名詞の交替とアーサー王物語の王妃グィネヴィア—

本学文学部教授 向井 剛

## 5月29日(金)

白雪姫のポストモダン  
50年代冷戦期における女性の自己確立

西九州大学准教授 渡邊 真理子

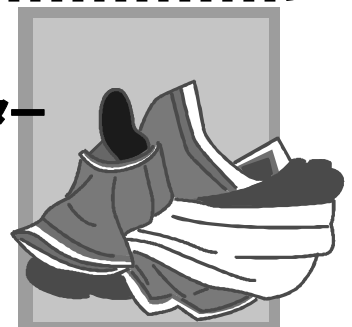
—シルビア・プラスの小説『ベル・ジャー』の主人公エスターの場合—

本学文学部教授 馬場 弘利

申し込み・問い合わせ先

福岡女子大学 女性生涯学習研究センター  
後 援 福岡県教育委員会、福岡市教育委員会

\*申し込み方法等、詳細は裏面をご覧ください\*



## 詩歌の恋情表現と「女性像」

5/27 ①

月野 文子

古代には、男性が〈女性の立場〉になりきって詩歌を詠むことが試みられた。そこには男性の憧れと好みとが投影され、〈理想の女性像〉が創出されていく。このことが女性自身の恋歌のありようにも影響を及ぼしたと考えてみます。

## 今日のジェイン・オースティン

5/28 ①

宮川美佐子

19世紀初めの女性作家オースティンは、本國イギリスはもちろん日本でも、映画化や現代風の焼き直し作品によって、今も高い人気を誇る稀有な存在です。この講座ではオースティンの魅力をあらためて探っていきます。



## 白雪姫のポストモダン

5/29 ①

渡邊真理子

〈おとぎ話〉と〈アメリカ文学〉と〈女性〉の関係って!?! 「白雪姫」をモチーフとした実験的な(反)小説『スノー・ホワイト』(1967)の“可愛くない世界”のなかに、その答えが見つかるかもしれません。

### ※受講方法※

■ハガキ、FAX、E-mail 電話にて、受講講座名・郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入の上、下記へお申し込みください。

■申込者は全員受講できますので、受講票の発送はいたしません。男女年齢問わず受講可能です。席に余裕がある場合は、講座最終日 5/29 まで申し込みを受け付けます。(途中からの参加も歓迎いたします。)

■台風などの悪天候等で、講座の日時・講師が変更になる場合があります。詳細はセンターまでお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

※受講料は初回受講時に、受付で徴収させていただきます。

### ※申し込み・問い合わせ先※

福岡女子大学 女性生涯学習研究センター 担当堤  
〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘 1-1-1

TEL/FAX: 092-661-2728(直通)

TEL: 092-661-2411/FAX: 092-661-2415(代表)

E-mail: rcle@fwu.ac.jp

メールのQRコード→

URL: <http://www.fwu.ac.jp/rcle/>



### ※お知らせ

乳幼児と共にご参加の方は本センター職員までお問合せ下さい。近隣の一時託児所の情報をご提供いたします。

## 『源氏物語』に見る女性と家

5/27 ②

田坂 憲二

『源氏物語』には様々な邸宅が、描写されている。そのうち、藤原氏の筆頭格である左大臣家と右大臣家がどのように伝領されたかを考える。それは平安貴族の女性の位置と、物語の読みの理解を深めることに繋がると思われる。

## アーサー王物語の女性と19世紀ヴィクトリア時代—ニミュエ、グイネヴィア、エレインと女性の役割—

5/28 ②

向井 剛

本講座では、ニミュエやグイネヴィアに倍して絵画や文学作品に取り上げられた今一人の女性エレインの人物像を例に取り、男女の手になる作品の比較をとおして当時想定された男女の役割と境界の問題を考えてみたい。

## 50年代冷戦期における女性の自己確立

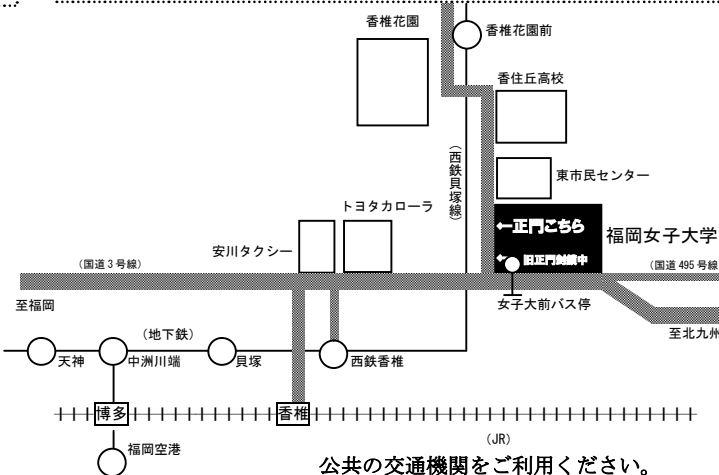
—シルビア・プラスの小説『ベル・ジャー』の

主人公エスターの場合—

5/29 ②

馬場 弘利

アメリカ東部ボストンに生まれた女子大生エスター・グリーンウッドは、大都市ニューヨークに出るが、人間関係と都市生活に挫折し故郷に戻る。再起を図るエスターが抱える女性としての自己確立の問題を50年代のアメリカ社会との関係を通して考えてみる。



- JR 香椎駅から徒歩約15分
- 西鉄香椎駅から徒歩約12分 香椎花園駅から徒歩約10分
- 西鉄バス「女子大前」下車(系統: 21, 21A, 23, 26, 26A)

ご提供いただいた個人情報につきましては、公開講座等の実施・運営、本センターからの公開講座等のご案内に使わせていただき、他の目的には使用いたしません。